

## 1. 略歴

- 1994年 3月 上智大学文学部英文学科卒業
- 1997年 3月 東京大学大学院人文社会系研究科欧米系文化研究専攻修士課程修了
- 2002年 3月 東京大学大学院人文社会系研究科欧米系文化研究専攻博士課程単位取得退学
- 2004年 4月 東京学芸大学教育学部講師
- 2004年 6月 ニューヨーク州立大学バッファロー校大学院英文科博士課程修了
- 2006年 4月 東京学芸大学教育学部助教授
- 2007年 4月 東京学芸大学教育学部准教授
- 2007年 10月 東京大学大学院総合文化研究科准教授
- 2010年 4月 東京大学大学院人文社会系研究科准教授

## 2. 主な研究活動

### a 専門分野

アメリカ文学

### b 研究課題

モダニズム文学を中心とするアメリカ小説研究

### c 主要業績

#### (1) 著書

共著、飯野友幸監修、サウンディングズ英語英米文学会編、『アメリカン・ロマンスの系譜形成——ホーソンからオジックまで』、金星堂、2012.12

共編著、平石貴樹、後藤和彦、諏訪部浩一編、『アメリカ文学のアリーナ——ロマンス・大衆・文学史』、松柏社、2013.4

共著、野崎敏編、『文学と映画のあいだ』、東京大学出版会、2013.6

編著、諏訪部浩一、『アメリカ文学入門』、三修社、2013.11

#### (2) 論文

諏訪部浩一、「サーガという形式——「ポスト・フォークナー」の作家としての阿部和重」、『フォークナー』、第14号、103-19頁、2012.4

Koichi Suwabe、「Faulkner's Black and White Oedipal Drama in "The Fire and the Hearth"」、『The Japanese Journal of American Studies』、Vol. 23、pp. 97-116、2012.6

#### (3) 書評

トマス・ピンチョン、『L.A.ヴァイス』、新潮社、諏訪部浩一、『Web 英語青年』、第158巻第11号、18-22頁、2013.2

#### (4) 学会発表

国内、諏訪部浩一、「「偉大」な小説とは何か——没後50年のフォークナー」、日本英文学会第84回大会、専修大学生田キャンパス、2012.5.27

国内、諏訪部浩一、「観てから読むか、読んでから観るか」、東京大学本郷キャンパス、2013.7.13

国内、諏訪部浩一、「黒い誘惑——フォークナー、ハメット、ノワール」、日本アメリカ文学会東京支部月例会全体会、慶應義塾大学三田キャンパス、2013.9.28

国内、諏訪部浩一、「アメリカ小説の映画化をめぐる」、第23回日本アメリカ文学会北海道支部大会、北海学園大学、2013.12.14

国内、諏訪部浩一、「シンポジウム 物語はジャンルを横断する」、第23回日本アメリカ文学会北海道支部大会、北海学園大学、2013.12.14

#### (5) 啓蒙

諏訪部浩一、「解説」、アーネスト・ヘミングウェイ、土屋政雄訳『日はまた昇る』、ハヤカワ epi 文庫、377-83頁、2012.3

小鷹信光、諏訪部浩一、「「ハードボイルド」とは何か——ダシール・ハメットの名作『マルタの鷹』を読み解く』、『図書新聞』、2012年6月2日号、1-2面、2012.6

諏訪部浩一、「アメリカ文学——現況と翻訳・研究」、『文藝年鑑2012』、92-94頁、2012.6

諏訪部浩一、「人間対コンピュータ」、『群像』、第68巻第8号、176-77頁、2013.8

諏訪部浩一、「文芸映画どう楽しもうか」、『朝日新聞』、夕刊第3面、2013.8.20

諏訪部浩一、「私の好きなポケミスベスト3」、『ハヤカワミステリマガジン』、第58巻第11号、64頁、2013.11

小澤英実、大和田俊之、諏訪部浩一、「アメリカ文学と村上春樹」、『NHKラジオテキスト 英語で読む村上春樹—  
—世界の中の日本文学』、第1巻第11号、118-46頁、2014.2

諏訪部浩一、「フォークナーの人物造型——『響きと怒り』のジェイソンを例として」、『れにくさ』、第5巻第3号、  
315-21頁、2014.3

(6) 受賞

日本推理作家協会賞、日本推理作家協会、2013.5.31

**3. 主な社会活動**

(1) 他機関での講義等

非常勤講師、学習院大学、「英語文化コース演習」、2012.4～2014.3

非常勤講師、青山学院大学、「米国文学史」、2012.4～2013.3

非常勤講師、早稲田大学、「英米文学特殊研究」、2012.9～2013.3、2013.9～2014.3

(2) 学会

国内、日本アメリカ文学会東京支部、評議員、2012.4～2014.3

国内、日本アメリカ文学会、大会運営委員、2012.4～2014.3

国内、日本英文学会関東支部、編集委員、2012.4～2014.3

国内、日本フォークナー協会、編集委員、2013.10～2014.3